

「地域の番人」との7年間の交流

「一隅を照らす、これ即ち国宝なり」

1200年前に比叡山を開いた最澄の有名な言葉です。自分自身が置かれた場所で精一杯努力し、光り輝くことができる人こそ、国の宝であり、一人一人が自分の持ち場で輝くことができれば、国全体が明るく照らされていくという意味があります。

森杉國作さんを中心とした八代環境パトロール隊はまさに一隅を照らす活動をしてきました。20年以上にわたる林道9キロの草刈り、富山県第1号となるNPOバスの経営などを通じて、氷見市や富山県だけでなく、全国の中山間地域に影響を与えてきました。そのことは県外から視察に訪れる行政職員や議員、識者の数が端的に物語っています。

平成27年度には地域活性化に顕著な実績を挙げた全国の団体・個人を顕彰する総務省の「ふるさとづくり大賞」で総務大臣表彰を受賞されました。この賞は昭和58年の創設以来、令和5年現在までの40年間で1,172団体・個人に贈られましたが、氷見市で受賞したのは八代地区のみです。地域づくりの分野で

氷見の名を全国に知らしめました。

さらに、地域の林道の維持管理活動により「農林水産大臣表彰」（令和2年）。
地域公共交通優良団体として「国土交通大臣表彰」（令和4年）も受賞されています。

私は東京を拠点に活動をしているジャーナリストです。200以上の地域活性化の現場取材してきましたが、3つの中央省庁から大臣表彰を受けている団体は他に知りません。八代環境パトロール隊の活動領域の広さにも驚かされます。

さて、私がホームページ「地域の番人」を立ち上げ、八代環境パトロール隊の活動紹介を始めてから7年が経ちます。「地域の番人」という名前は私が八代を初めて訪れ、森杉さん取材しているときに思いつきました。

森杉さんは「自らの地域は自ら守る」という強い信念のもと、地域の見回りを中心に住民を支える様々な活動をされています。驚いたのは、他県ナンバーの自動車の往来にまで注意を払っていることです。これは過去にやってきた悪質

な訪問販売が全て他県ナンバーの車であったことから行っておられます。これほどまでに地域を想う気持ちはどこからくるのか。私は森杉さんに強い関心を持ちました。

取材から一年後。パトロール隊事務局長の浅井世明さんからのイベントの案内をきっかけに、私は八代で動画制作を個人的に始めます。年数回の頻度で八代に通い、これまでに20本の動画を制作しました。それらは地域の番人のホームページで配信しています。ご興味のある方はインターネットで検索していただけると幸いです。

7年間の交流で生まれた印象深いことを3つ紹介します。

第一に、多数の旅人と渡り鳥が行き交った要地「荒山峠」の案内板の文を担当したこと。交流の記念として、私の名前も記載していただきました。

第二に、地元の方だけでなく、視察やボランティアなどで八代を訪れる多様な人たちとも出会えたこと。

第三に、首都圏在住の氷見出身者の団体「東京氷見会」が富山県赤坂会館（東京都港区）で開催した新年会に招待されて、地域の番人の動画を上映したこと。大勢の方から感謝の言葉をいただいたことは忘れられない思い出です。

私が社会人になって最も楽しかったことは、地域の番人の動画制作です。この場を借りて、八代環境パトロール隊の皆様にご感謝申し上げます。



(2016年6月 林道氷北線の草刈りの現場にて 筆者は前列中央)

地域創生ジャーナリスト／地域の番人 監督 巻島大樹